



令和 6 年

火 災

救 急

救 助

通 信

概 況

上越地域
Joetsu Area Fire Dept.
消 防 局

目次

火災編

1	火災発生状況	1
2	火災の特徴	2
3	出火原因	4
4	火災による死傷者	5
5	損害額の推移	5
6	焼損面積の推移	6
7	住宅火災の状況	6
8	住宅用火災警報器	7
9	火災状況比較	9
10	管内地域別署所別火災状況比較	10

救急編

1	救急出場状況	11
2	救急搬送人員	13
3	救急活動平均所要時間	14
4	応急手当実施状況	15

救助編

1	救助出場状況	17
2	地域別救助出場状況	18

通信編

1	119番受付状況	19
2	口頭指導実施状況	20
3	外国語通訳状況	20
3	映像通報119接続状況	21

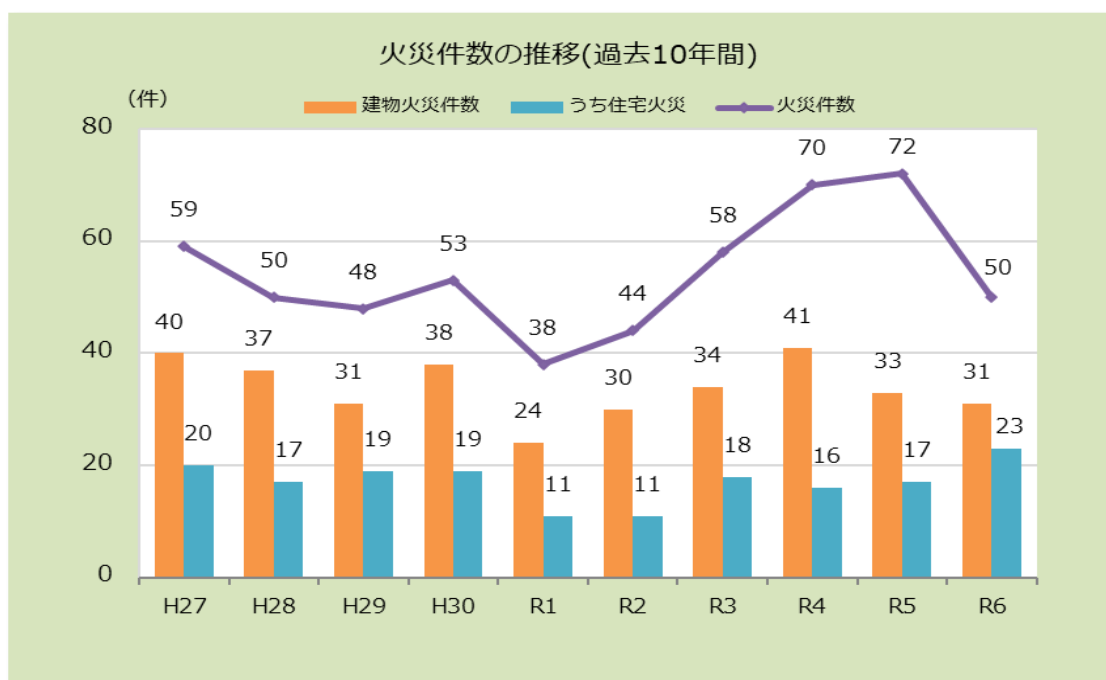
火災編

1 火災発生状況

■ 火災件数は50件

令和6年の火災件数は50件で、前年比で22件減少しました。建物火災は2件減少しましたが、住宅火災は6件増加しました。また、その他火災が13件減少、次いで車両火災が4件減少、林野火災は3件減少しました。

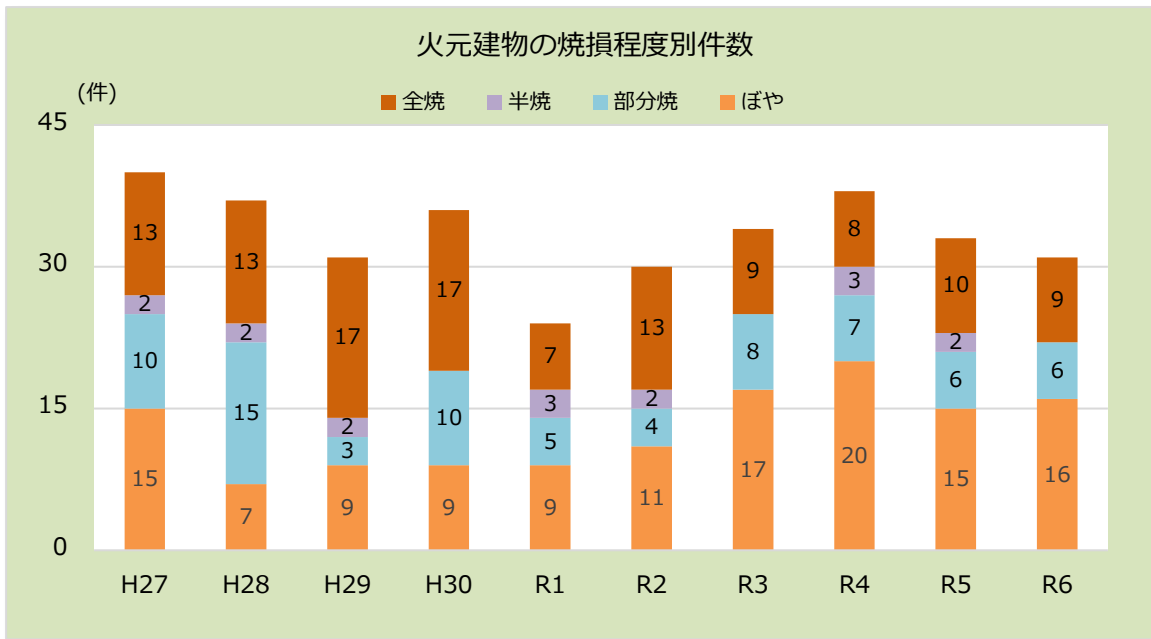
火災発生状況					
	令和5年	割合	令和6年	割合	増減
火災件数	72	100.0%	50	100.0%	▲ 22
建物火災	33	45.8%	31	62.0%	▲ 2
住宅火災	17	51.5%	23	74.2%	6
林野火災	4	5.6%	1	2.0%	▲ 3
車両火災	8	11.1%	4	8.0%	▲ 4
その他火災	27	37.5%	14	28.0%	▲ 13



2 火災の特徴

■ 火元建物の焼損程度別件数

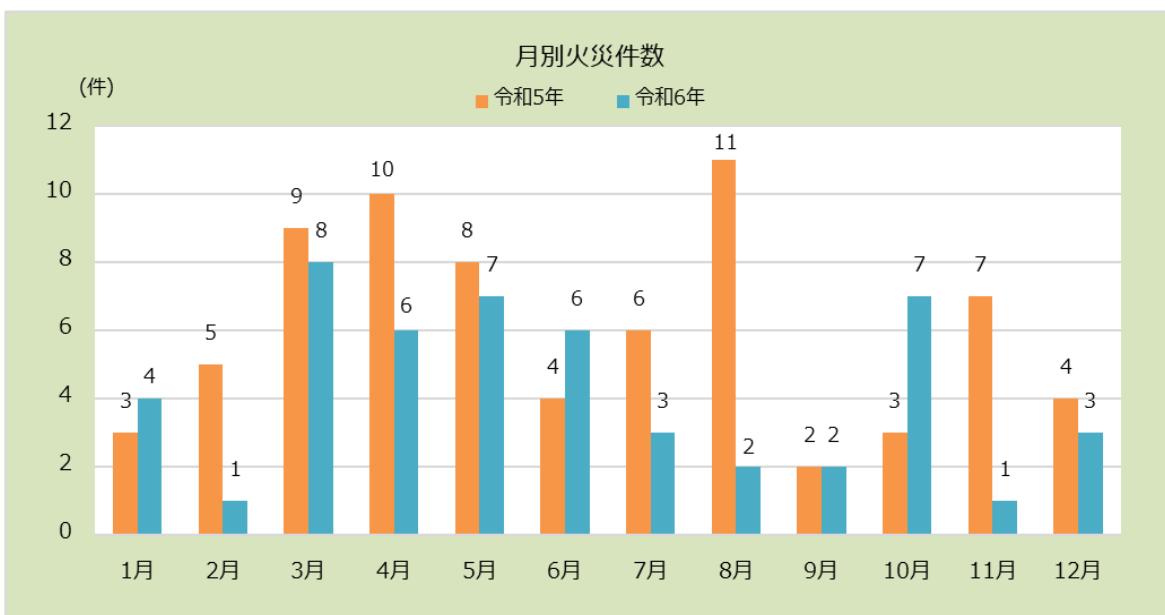
火元建物の焼損程度別件数は「ぼや」が16件と最も多く、次いで「全焼」が9件でした。



※ 爆発等に該当する火災、火元が建物以外の建物火災を除く

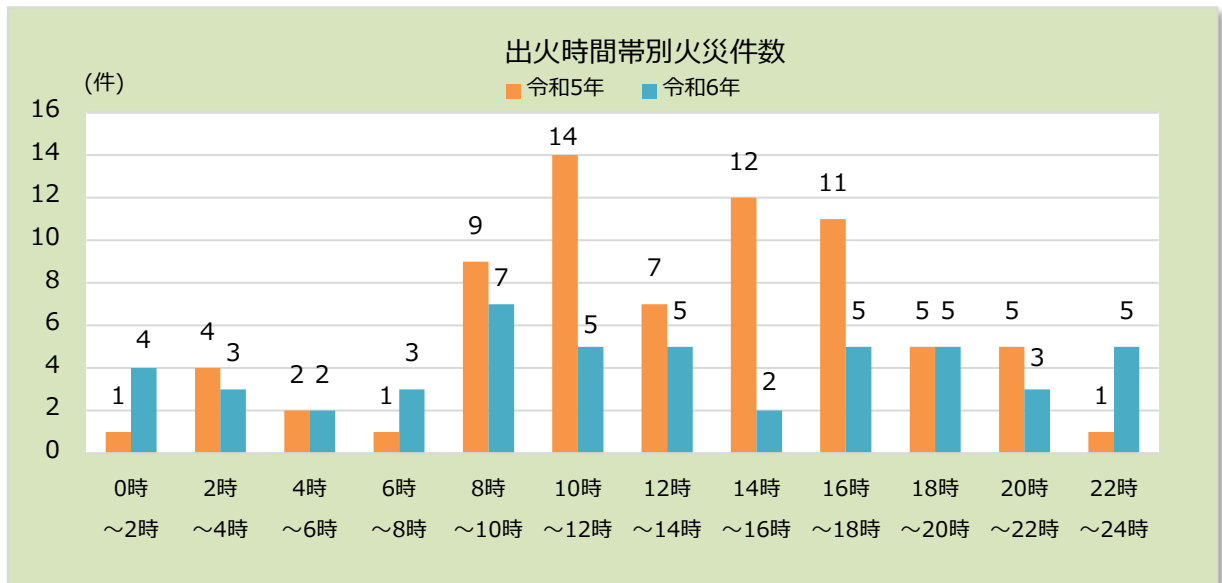
■ 月別火災発生状況

ひと月当たりの平均火災件数は約4件で、3月が最も多く8件の火災が発生しました。



■ 時間帯別火災発生状況

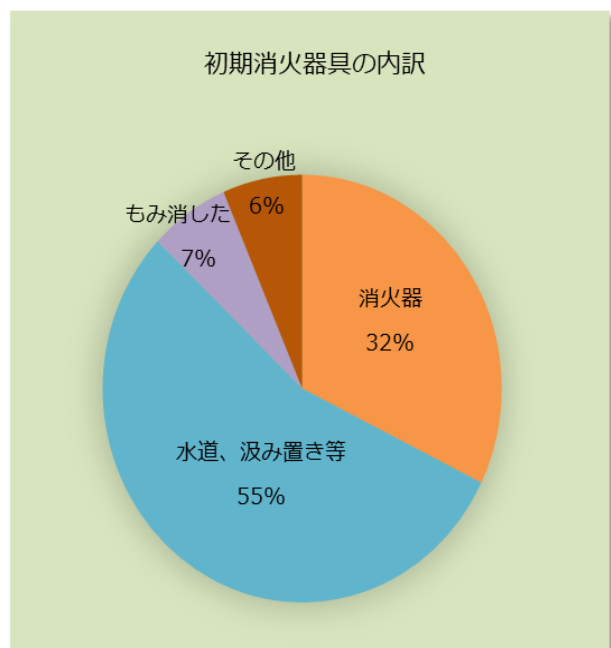
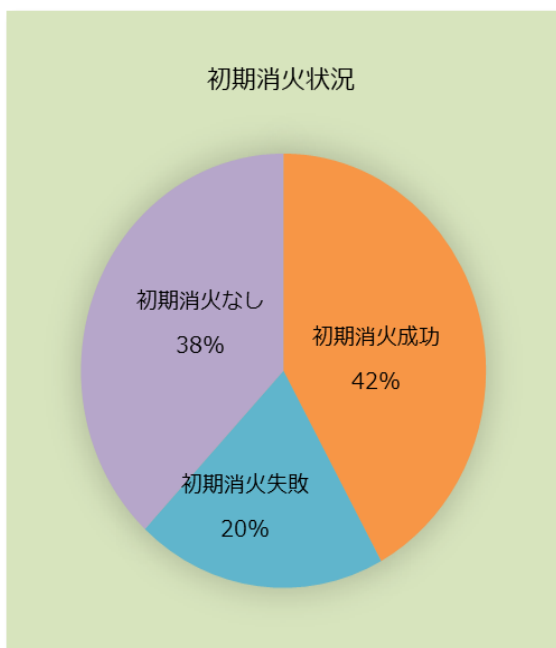
最も火災の多い時間帯は午前8時から午前10時までの間でした。



※ 令和6年のうち、1件は出火時間不明のため除く

■ 初期消火状況

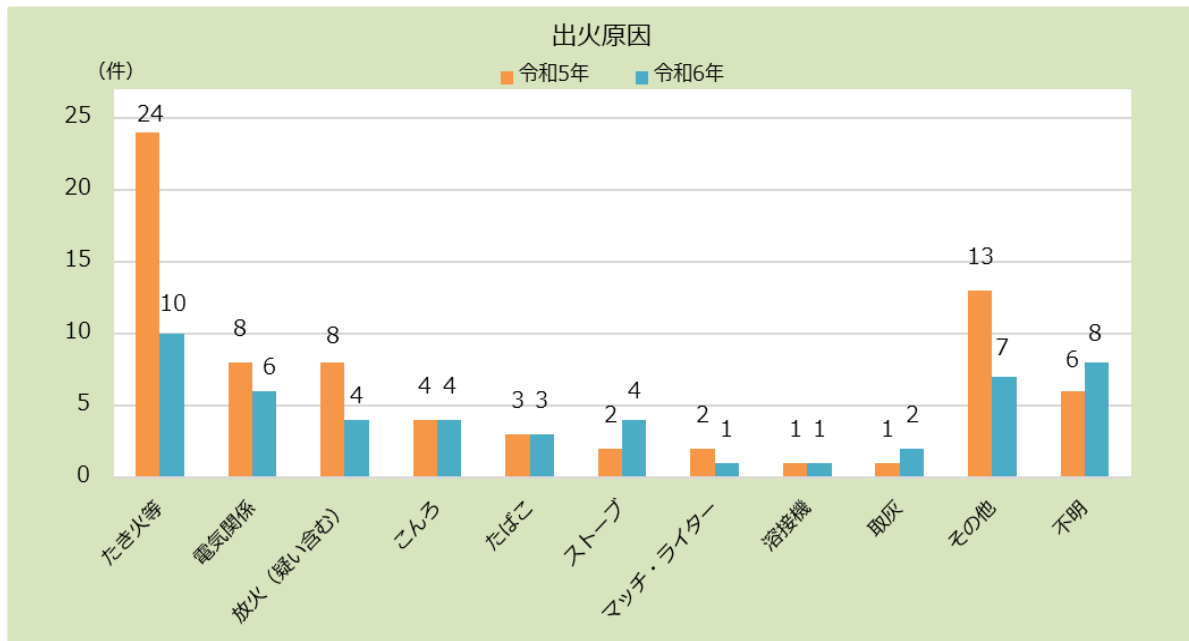
約6割の火災で初期消火が行われており、そのうち5割以上が水道水、汲み置き等によるものでした。



3 出火原因

■ 出火原因は「たき火等」が1位

出火原因は「たき火等」が10件と最も多く、次いで「電気関係」が6件、「放火（疑いを含む）」「こんろ」「ストーブ」が各4件でした。



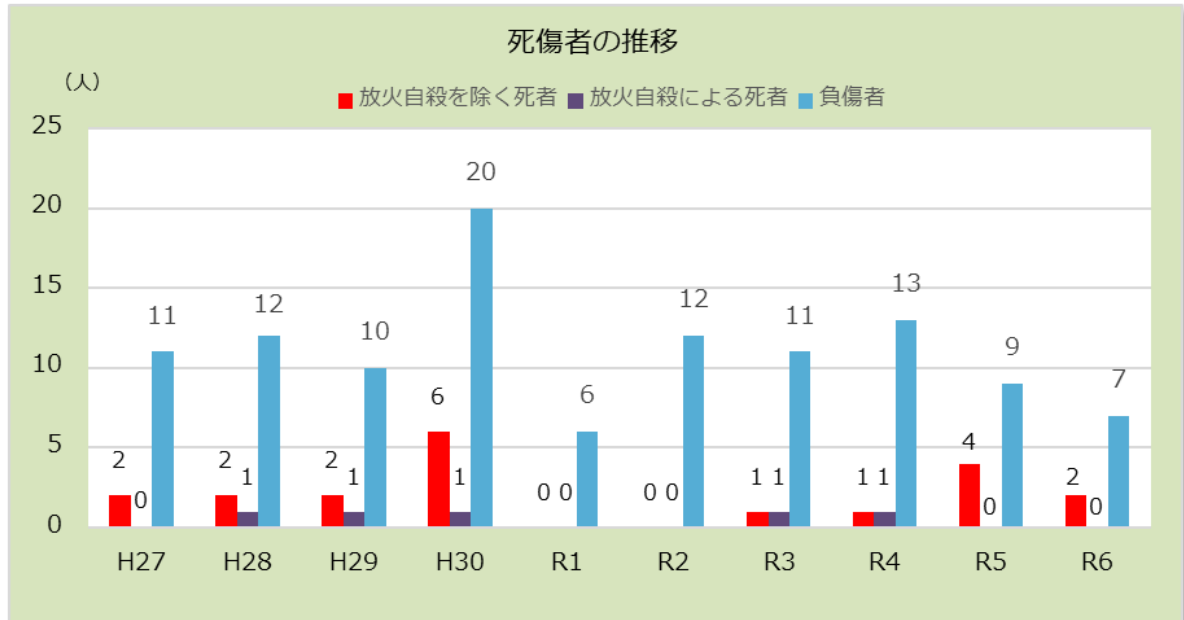
■ 出火原因の詳細

		(件)
■ たき火等	たき火(ゴミ焼却等の拡大・飛び火)	8
	火入れ(枯草焼きの拡大)	2
■ 電気関係	電気機器(エアコン室外機、床暖房設備、除湿器)	4
	電気配線	1
	高圧配電線からの漏電	1
■ こんろ	ガスこんろ	2
	ガステーブル	1
	カセットこんろ	1

4 火災による死傷者

■ 火災による死者2人、負傷者は7人

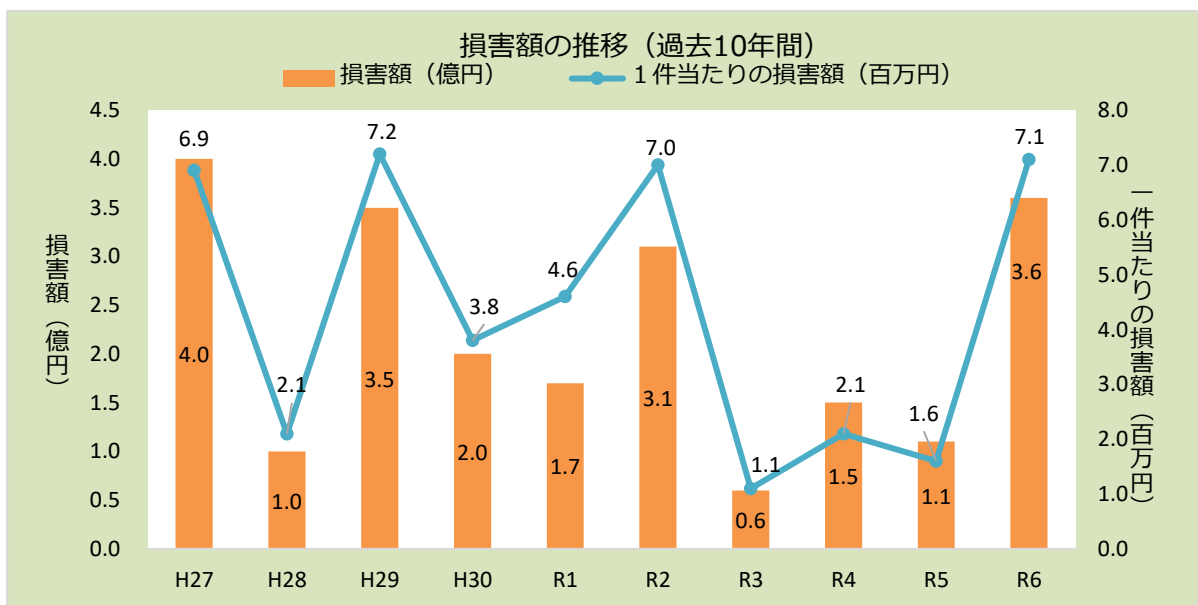
火災による死者は前年比で2人減少し、2人でした。



5 損害額の推移

■ 火災による損害額の推移

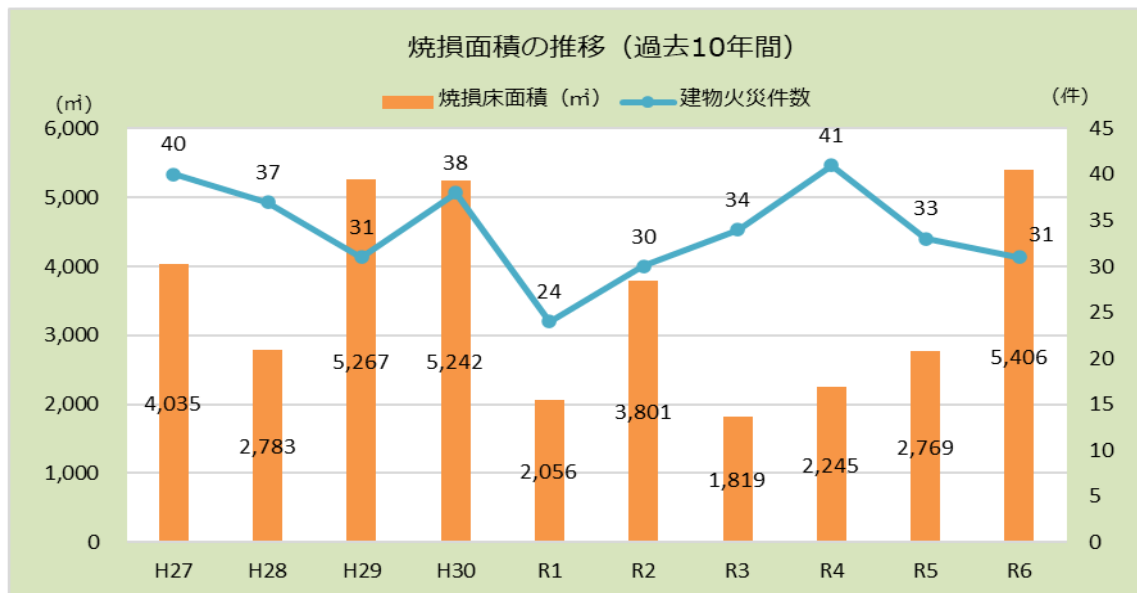
火災損害額は総額で約3億6,000万円、1件当たり約710万円でした。



6 焼損面積の推移

■ 焼損床面積は 5,406 m²

焼損床面積は 5,406 m²で、前年の2倍となりました。



7 住宅火災の状況

■ 住宅火災の発生状況

住宅火災の件数、焼損棟数及び損害額は、いずれも前年より増加しました。

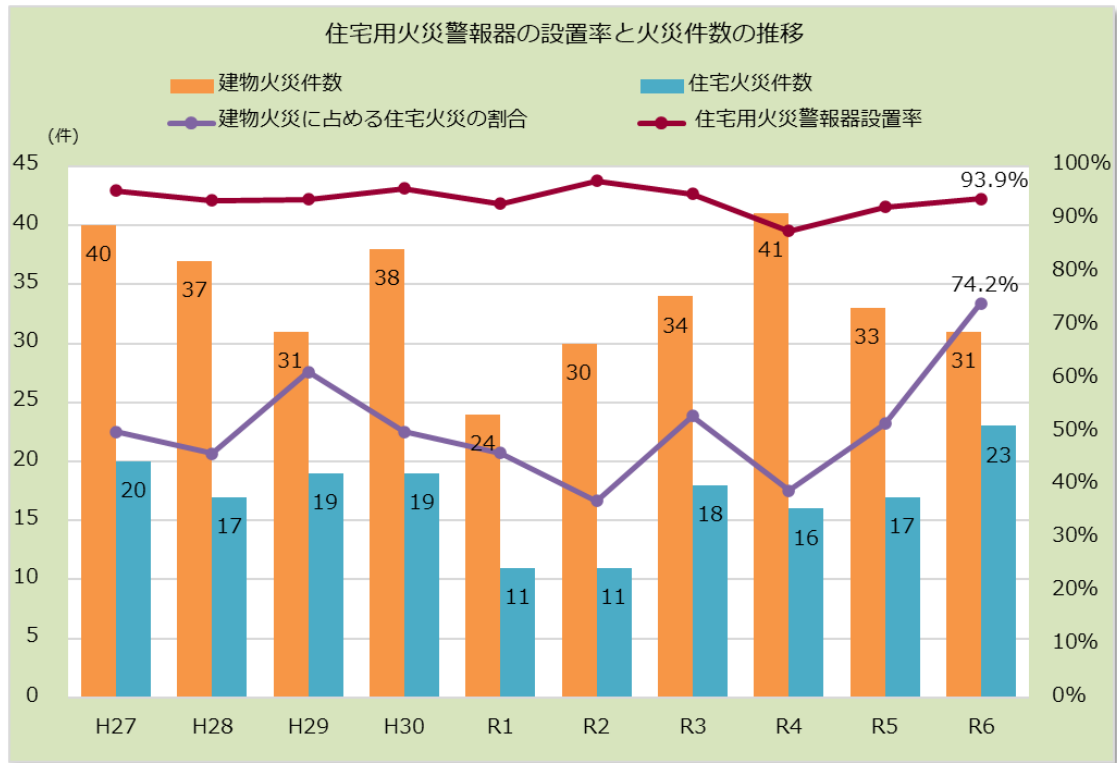
	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	5年平均
建物火災件数	30	34	41	33	31	34
うち住宅火災※1	11	18	16	17	23	17
住宅火災割合	36.7%	52.9%	39.0%	51.5%	74.2%	51%
焼損棟数	61	56	52	60	70	60
うち住宅火災	31	30	23	34	57	35
住宅火災割合	50.8%	53.6%	44.2%	56.7%	81.4%	57%
建物火災損害額（千円）	302,664	62,907	145,571	107,948	273,508	178,520
うち住宅火災	178,207	23,780	53,651	78,619	268,571	120,566
住宅火災1件当たり	16,201	1,321	3,353	4,625	11,677	7,092
住宅火災死傷者発生率※2	3.2	3.7	4.2	4.2	3.8	3.9

※1 住宅火災：専用住宅、共同住宅の住戸部分、併用住宅（住居部分の面積が延べ面積の20%以上のものに限る）の住宅部分から出火した火災。

※2 住宅火災死傷者発生率：人口10万人当たりの住宅火災による死傷者数

■ 住宅火災件数の推移

建物火災に占める住宅火災の割合は前年より上昇しました。



8 住宅用火災警報器

■ 住宅用火災警報器の設置率

令和6年6月1日時点における住宅用火災警報器の設置率は93.9%、条例適合率は64.2%でした。

住宅用火災警報器の設置率（令和6年6月1日時点）		
	設置率 ※1	条例適合率 ※2
上越地域消防局	93.9%	64.2%
新潟県	90.5%	74.4%
全国	84.5%	66.2%

※1 設置率：火災予防条例で設置が義務づけられている住宅の部分（すべての寝室と、寝室が2階にある場合は階段の上部）のうち、1か所以上に設置されている世帯の全世帯に占める割合

※2 条例適合率：火災予防条例で設置が義務づけられている住宅の部分（すべての寝室と、寝室が2階にある場合は階段の上部）のすべてに設置されている世帯の全世帯に占める割合

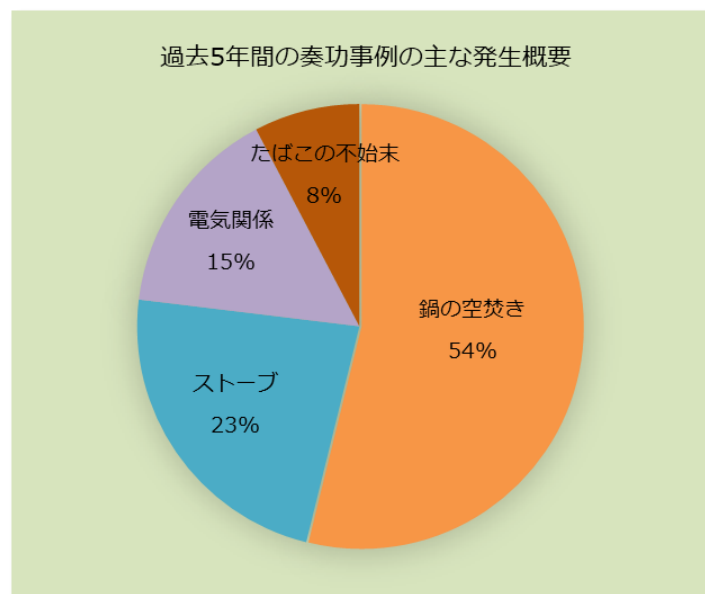
■ 住宅用火災警器の奏功事例

住宅用火災警報器を設置したことによって、火災に至らなかった、又は被害が軽減した火災事例が毎年報告されています。

奏功事例件数						
	奏功件数	被害程度				
		被害なし	ぼや	部分焼	半焼	全焼
平成27年	5	4	1			
平成28年	4	1	1	2		
平成29年	2	2				
平成30年	4	3	1			
令和元年	3	2				1
令和2年	2					2
令和3年	4	1	1	2		
令和4年	4	2		2		
令和5年	2	2				
令和6年	5	2	3			
合計	35	19	7	6		3

■ 過去5年間の奏功事例発生概要

奏功事例の5割以上は鍋の空焚きで、台所で発生しています。台所への住宅用火災警報器の設置が火災の防止と被害の軽減に効果的です。



9 火災状況比較

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	過去10年 平均
火災件数	44	58	70	72	50	54.2
建物火災	30	34	41	33	31	33.9
住宅火災	11	18	16	17	23	17.1
住警器 設置状況						
設置あり (一部設置含む)	6	12	11	11	17	10.7
設置なし	5	5	4	2	2	4.4
不明		1	1	3	3	1.8
林野火災		1	2	4	1	1.4
車両火災	4	10	7	8	4	7.4
船舶火災						0.1
その他火災	10	13	20	27	14	11.4
焼損棟数	61	56	52	60	70	59.5
り災世帯	34	29	24	28	47	30.8
り災人員	79	65	63	58	91	73.4
建物焼損床面積 (㎡)	3,801	1,819	2,245	2,769	5,406	3,529.7
建物焼損表面積 (㎡)	381	120	88	317	472	387.3
林野焼損面積 (a)		51	1	62	14	62.4
損害額 (千円)	308,464	64,802	149,852	113,391	356,616	221,069
死者合計 (人)		2	2	4	2	2.5
(うち放火自殺者数)		(1)	(1)			(0.5)
建物火災		2	2	4	2	2.1
林野火災						0.0
車両火災						0.1
船舶火災						0.0
その他火災						0.3
負傷者合計 (人)	12	11	13	9	7	11.1
建物火災	9	8	10	6	6	8.4
林野火災						0.2
車両火災	1	1				0.5
船舶火災						0.0
その他火災	2	2	3	3	1	2.0

10 管内地域別署所別火災状況比較

地域	区分	火災件数		焼損棟数		り災世帯数		死傷者数(死者数)		建物焼損床面積(m ²)		損害額(千円)		出火率※
		R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	
合計		72	50	60	70	28	47	13(4)	9(2)	2,769	5,406	113,391	356,616	2.4
上越市	合併前上越市	27	26	31	50	17	37	6(2)	8(2)	2,288	5,103	92,090	345,783	2.1
	安塚区	4	1	2		1		1				13		5.5
	浦川原区	2	4	1	4		1			68	137	6,192	2,203	14.4
	大島区		2		2		2				4		127	16.7
	牧区													0.0
	柿崎区	4	3		3		1		1		10	117	633	3.6
	大潟区	2		2								8		0.0
	頸城区	4	3	11	3	4	1	1(1)		129		9,142	2,419	3.3
	吉川区	3		3		2		1		81		836		0.0
	中郷区		2		1								1	6.4
	板倉区	5	2					1						3.4
	清里区	2												0.0
	三和区	1	1	1	1	1						6	248	2.0
	名立区	2						1						0.0
	小計		56	44	51	64	25	42	11(3)	9(2)	2,566	5,254	108,404	351,414
妙高市	新井地域	8	4	6	5	2	4	1		108	152	2,282	5,138	1.8
	妙高原地域	5	1	3	1	1	1	1(1)		95		2,546	4	2.5
	妙高地域	3	1									159	60	3.2
	小計	16	6	9	6	3	5	2(1)		203	152	4,987	5,202	2.0
上越消防署	20	16	18	11	8	10	3(1)	3	276	48	35,319	86,481		
上越南消防署	10	13	23	42	13	28	4(2)	5(2)	2,128	5,055	65,875	261,721		
新井消防署	13	8	6	6	2	4	2		108	152	2,282	5,139		
頸北消防署	9	3	5	3	2	1	1	1	81	10	961	633		
頸南消防署	8	2	3	1	1	1	1(1)		95		2,705	64		
東頸消防署	6	7	3	6	1	3	1		68	141	6,205	2,330		
名立分遣所	2						1							
高士分遣所	4	1	2	1	1				13		44	248		

※ 出火率：人口1万人当たりの火災件数

救急編

1 救急出場状況

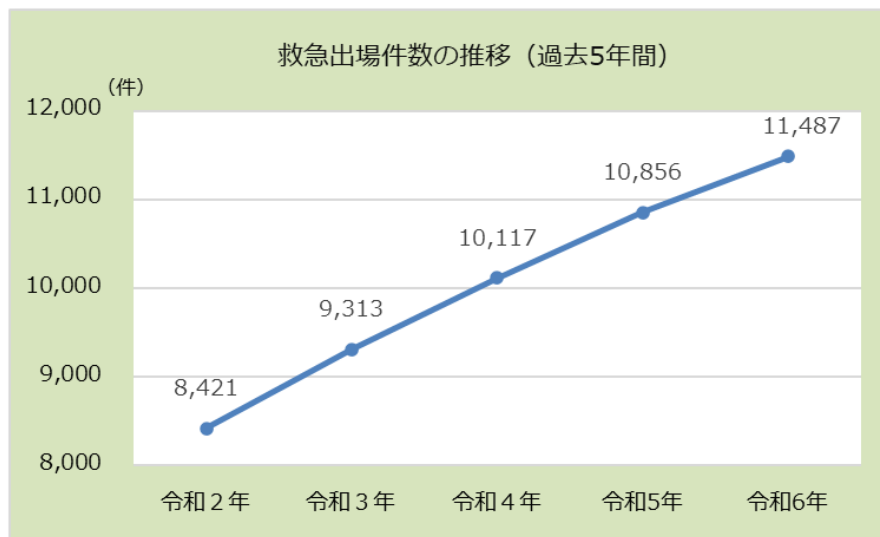
■ 救急出場件数は11,487件

令和6年の救急出場状況は11,487件で、前年に比べ631件増加しました。1日平均31.38件、約45.9分に1回の割合で救急車が出場したことになります。

事故種別救急出場件数			
	令和5年	令和6年	増減
急病	7,063	7,317	254
一般負傷	1,656	1,804	148
交通事故	447	504	57
労働災害	146	143	▲3
運動競技	80	85	5
自損行為	85	101	16
加害	22	19	▲3
火災	57	45	▲12
自然災害		11	11
水難事故	9	13	4
その他	94	88	▲6
転院搬送	1,197	1,357	160
合計	10,856	11,487	631

■ 過去5年間の推移

令和6年は、過去最多の出場件数でした。



■ 管内地域別署所別救急出場状況

令和6年の市町村別救急出場件数は、上越市が9,779件、妙高市が1,705件でした。

救急事故種別件数														
	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	
合計	11,487	45	11	13	504	143	85	1,804	19	101	7,317	1,357	88	
上越市	合併前上越市	6,608	23	7	11	308	69	57	977	11	59	4,269	767	50
	安塚区	172				3	3		24		1	105	35	1
	浦川原区	170	3			5	2	1	25	1	2	102	28	1
	大島区	118	2			5	1		11		2	73	23	1
	牧区	117				5	1	1	21			51	37	1
	柿崎区	541	3			28	10	6	63	1	4	344	77	5
	大潟区	479	1		1	28	11	2	70		4	273	77	12
	頸城区	455	2	2		20	5	1	55	4	3	348	11	4
	吉川区	182				3	3	1	32		1	125	15	2
	中郷区	155	1			8	2	1	30		2	108	3	0
	板倉区	262	1			11	3	1	41		3	173	28	1
	清里区	117				4			21		2	61	29	0
	三和区	235	1			11	7		34	1		147	33	1
	名立区	168				5	2		37		4	101	18	1
小計	9,779	37	9	12	444	119	71	1,441	18	87	6,280	1,181	80	
妙高市	新井地域	1,115	4			38	13	6	195	1	11	730	113	4
	妙高高原地域	398	1	1		14	6	7	119		2	189	55	4
	妙高地域	192	1	1	1	8	5	1	49		1	117	8	
	小計	1,705	6	2	1	60	24	14	363	1	14	1,036	176	8
他市町村	3	2									1			
上越消防署	3,554	13	5	9	172	45	23	504	7	29	2,253	455	39	
上越南消防署	3,264	14	3	2	150	26	37	493	7	31	2,099	379	23	
新井消防署	1,610	8			60	23	9	294	1	15	1,036	158	6	
頸北消防署	1,026	4	1	1	41	16	6	148	1	9	691	100	8	
頸南消防署	548	1	2	1	23	10	7	151		3	296	53	1	
東頸消防署	544	1			16	7	1	72	1	6	351	85	4	
名立分遣所	214	2			8	1		42		4	138	18	1	
高土分遣所	727	2			34	15	2	100	2	4	453	109	6	
合計	11,487	45	11	13	504	143	85	1,804	19	101	7,317	1,357	88	

2 救急搬送人員

■ 救急搬送人員は 10,836 人

令和6年の救急搬送人員は10,836人で過去最多となり、高齢者の搬送が7割を占めています。

救急搬送人員								
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	高齢者の割合	合計	割合
合併前上越市	25	207	193	1,602	4,190	67.4%	6,217	57.4%
安塚区		3	2	15	146	88.0%	166	1.5%
浦川原区			3	28	132	81.0%	163	1.5%
大島区		2	1	10	96	88.1%	109	1.0%
牧区		1	1	14	97	85.8%	113	1.0%
柿崎区		10	10	109	390	75.1%	519	4.8%
大潟区		11	11	109	299	69.5%	430	4.0%
頸城区		9	10	108	310	70.9%	437	4.0%
吉川区		2	2	32	134	78.8%	170	1.6%
中郷区		2	6	25	113	77.4%	146	1.3%
板倉区		4	5	47	188	77.0%	244	2.3%
清里区		2		13	103	87.3%	118	1.1%
三和区	1	2	4	46	173	76.5%	226	2.1%
名立区		4	2	27	127	79.4%	160	1.5%
新井地域	2	35	38	233	750	70.9%	1,058	9.8%
妙高高原地域		4	18	143	220	57.1%	385	3.6%
妙高地域		6	6	43	119	68.4%	174	1.6%
他市町村				1		0.0%	1	0.0%
合計	28	304	312	2,605	7,587	70.0%	10,836	100.0%

※年齢区分

新生児：生後28日未満

少年：7歳以上18歳未満

成人：18歳以上65歳未満

高齢者：65歳以上

■ 過去5年間の推移

依然として軽症が最も多いですが、令和6年の中等症は大幅に増加となりました。

傷病程度※別救急搬送人員の推移（過去5年間）					
	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
軽 症	3,561	3,868	4,512	4,969	5,158
中等症	3,378	3,824	3,933	3,980	4,497
重 症	894	1,015	984	1,026	934
死 亡	228	215	258	202	247
合 計	8,061	8,922	9,687	10,177	10,836

※ 傷病程度

軽 傷：入院を要しないもの

中等症：21日未満の入院を要するもの

重 症：21日以上入院を要するもの

死 亡：初診時死亡が確認されたもの

3 救急活動平均所要時間

■ 現場到着所要時間と病院収容所要時間

現場到着所要時間※1は平均約10.1分、病院収容所要時間※2は平均約39.0分でした。

事故種別	所要時間	現場到着 (分)		病院収容 (分)	
		令和5年	令和6年	令和5年	令和6年
急 病		9.9	10	38.4	38.3
交 通 事 故		10.9	10.9	43.3	42.7
一 般 負 傷		10.5	10.5	41.8	41.8
上 記 以 外		9.4	9.3	38.1	38.4
平 均		10.0	10.1	39.1	39.0

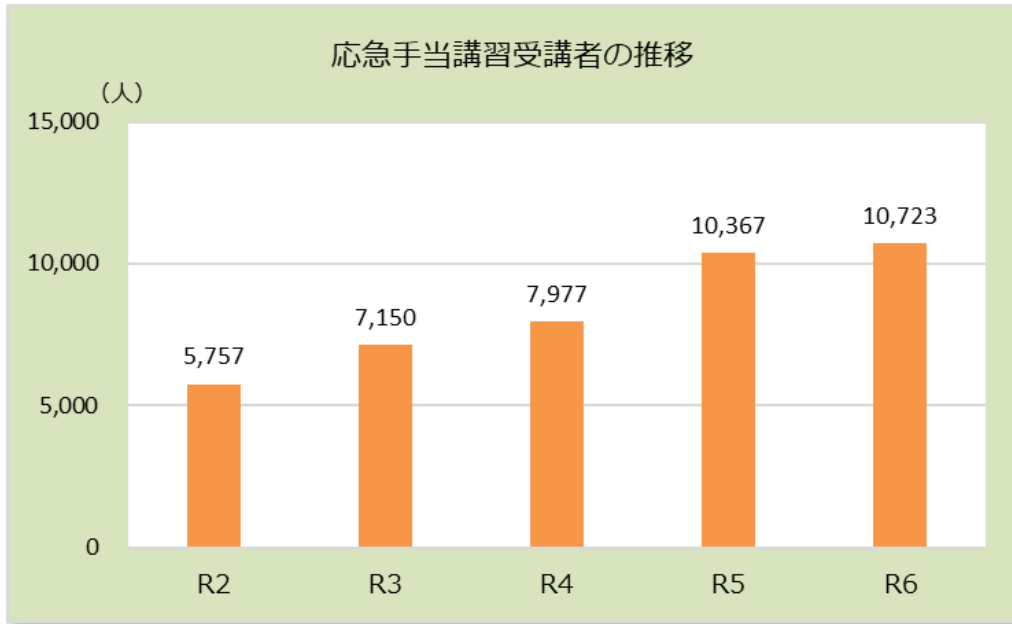
※1 現場到着所要時間：覚知から現場到着までの所要時間

※2 病院収容所要時間：覚知から病院収容までの所要時間

4 応急手当実施状況

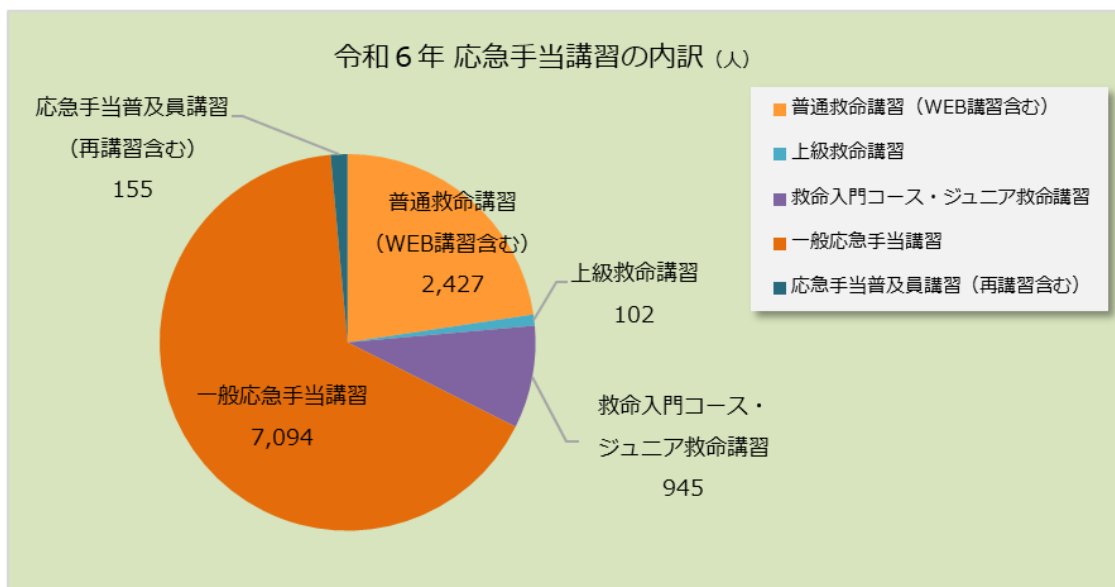
■ 応急手当講習受講者の推移

新型コロナウイルス感染症の流行以降、講習会の受講者は年々増加しています。



■ 応急手当講習の内訳

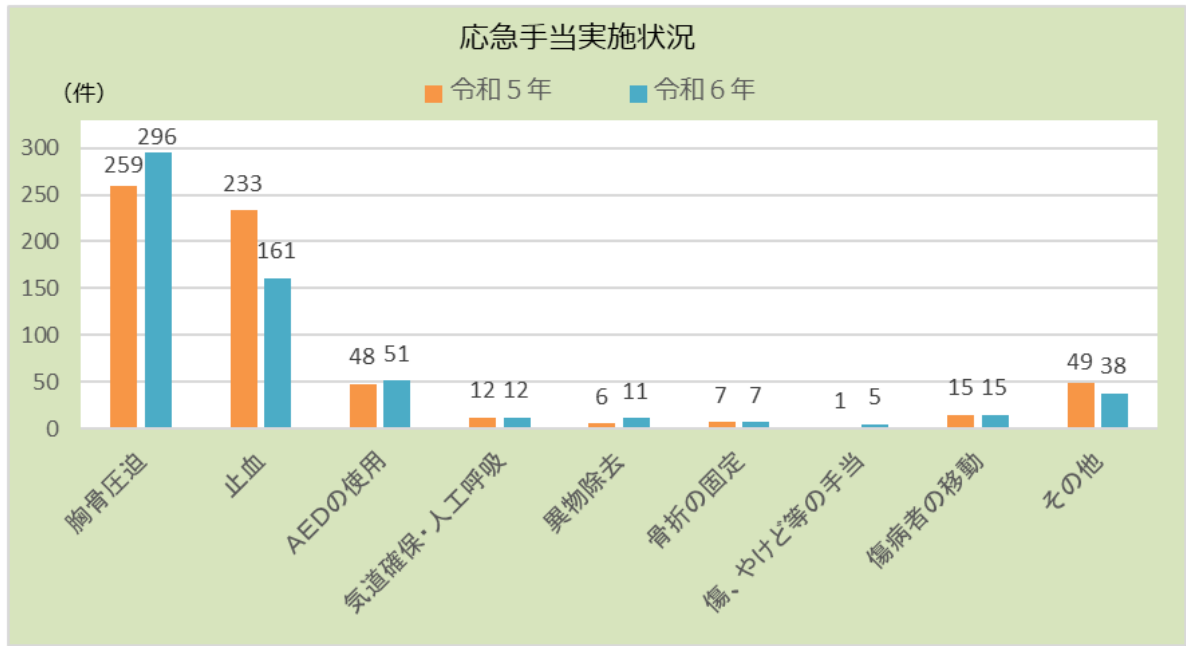
普通・上級救命講習や事業所での指導者育成を目的とした応急手当普及員講習を中心に、質の高い応急手当ができるバイスタンダー※の育成を行いました。



※ バイスタンダー：救急現場に居合わせた人

■ 応急手当実施状況

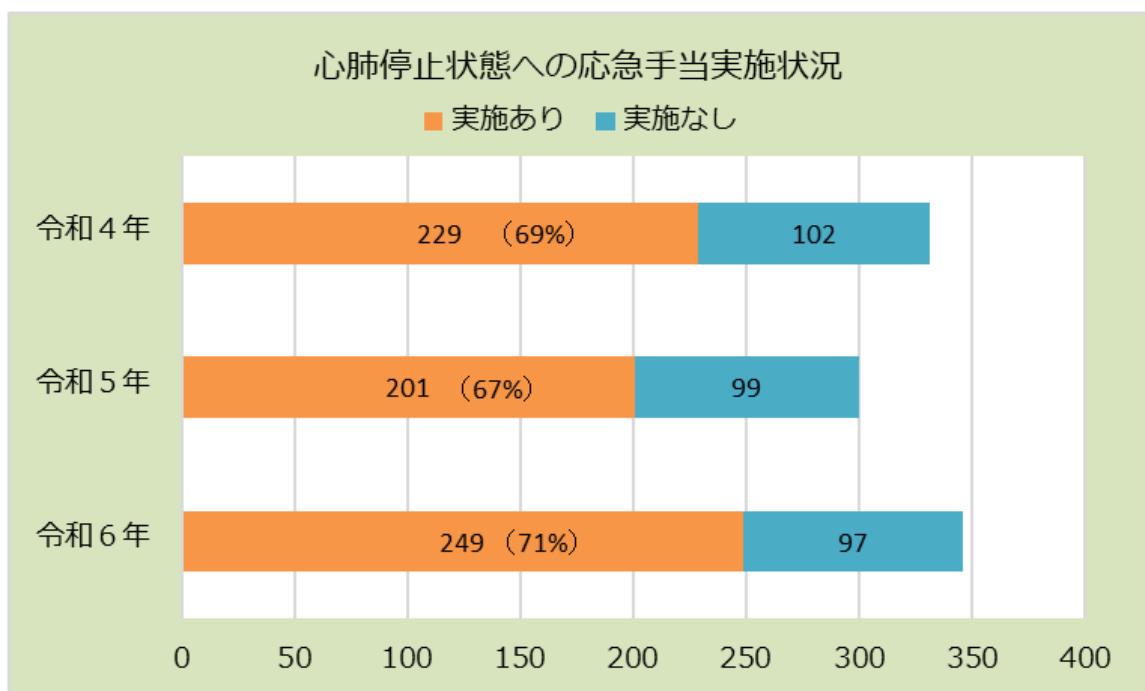
バイスタンダーによる応急手当の中で、胸骨圧迫が最も多い結果となりました。



※ 応急手当実施件数は、現場到着時に救急隊が実施を確認できた件数

■ 心肺停止状態の傷病者への応急手当実施状況

バイスタンダーが心肺停止状態の傷病者に胸骨圧迫やAED等の応急手当を実施していた割合は、令和6年で初めて7割を超えました。



救助編

1 救助出場状況

■ 救助出場件数は88件

令和6年の救助出場件数は88件で、前年比で2件増加しました。

交通事故が最も多く、登山者や山菜取り等の「その他事故」が前年より大幅に増加しました。

救助出場件数						
事故種別	出場件数			活動件数		
	令和5年	令和6年	増減	令和5年	令和6年	増減
火災	4	2	▲2	4	2	▲2
交通事故	39	28	▲11	17	14	▲3
水難事故	8	13	5	3	5	2
自然災害		1	1		1	1
機械事故	2	5	3	1	2	1
建物等事故	20	15	▲5	17	15	▲2
ガス酸欠事故						
破裂事故						
その他事故	13	24	11	7	21	14
合計	86	88	2	49	60	11

2 地域別救助出場状況

地域別救助出場件数											
		救助事故種別							出場件数		増減
		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物等事故	その他事故	令和6年	令和5年	
上越市	合併前上越市	2	10	10		2	10	9	43	44	▲1
	安塚区							1	1	1	
	浦川原区		1				1		2	1	1
	大島区		1						1	1	
	牧区		1						1	1	
	柿崎区		4						4	3	1
	大潟区		2	1					3	4	▲1
	頸城区		1	1				1	3	4	▲1
	吉川区									1	▲1
	中郷区		1				1		2	1	1
	板倉区		1			1	1		3	2	1
	清里区									1	▲1
	三和区		1						1	1	
	名立区							3	3		3
	小計	2	23	12		3	13	14	67	65	2
妙高市	新井地域		3			1	3	1	8	7	1
	妙高高原地域		1					4	5	9	▲4
	妙高地域		1	1	1			5	8	4	4
	小計		5	1	1	1	3	10	21	20	1
他市町村										1	▲1
合計	令和6年	2	28	13	1	4	16	24	88	86	2
	令和5年	4	39	8		2	20	13	86		
増減		▲2	▲11	5	1	2	▲4	11	2		

通信編

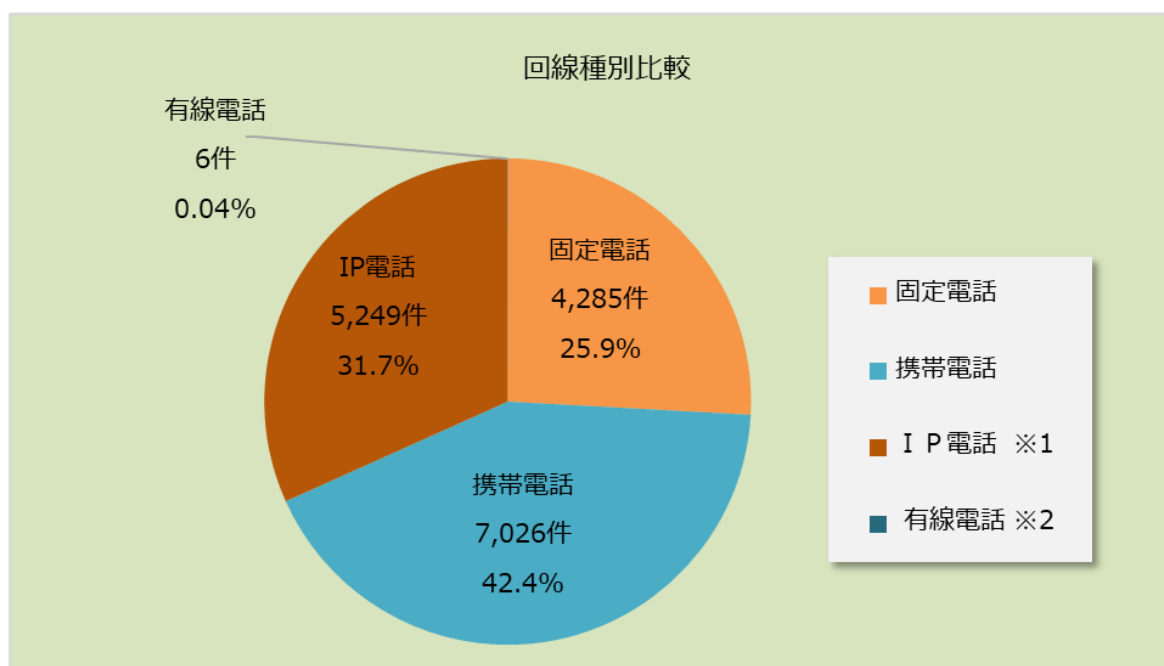
1 1 1 9 番受付状況

■ 1 1 9 番通報は 16,566 件

令和6年の1119番通報受付件数は16,566件で、前年比で228件増加しています。1日平均約45.3件、約31分に1回の割合で1119番通報を受け付けたことになります。

通報種別件数					
	令和5年	割合	令和6年	割合	増減
火 災	124	0.8%	109	0.7%	▲ 15
救 急	9,879	60.5%	10,569	63.8%	690
救 助	29	0.2%	43	0.3%	14
警 戒	94	0.6%	106	0.6%	12
通 報 訓 練※1	4,144	25.4%	4,096	24.7%	▲ 48
ま ち が い※2	1,450	8.9%	970	5.9%	▲ 480
問 合 せ※3	618	3.8%	673	4.1%	55
合 計	16,338	100%	16,566	100%	228

- ※1 通報訓練：「試験」を含む
- ※2 まちがい：「いたずら」を含む
- ※3 問合せ：「病院照会」等を含む



- ※1 I P 電話：インターネットプロトコルを利用した電話サービス
- ※2 有線電話：上越有線、新井有線（上越有線は令和6年9月30日サービス終了）

2 口頭指導実施状況

■ 口頭指導件数は783件

119番通報受信時、通報者に対して傷病者の状態に応じた応急手当を指導した件数です。

	令和5年	令和6年	増減
心肺蘇生	7	4	▲ 3
胸骨圧迫	324	384	60
異物除去	6	5	▲ 1
止血	383	356	▲ 27
熱傷	1	3	2
指趾切断			
その他	43	31	▲ 12
合計	764	783	19

3 外国語通訳状況

■ 三者間同時通訳の利用は19件

外国人からの119番通報時や救急現場等で利用した件数です。

	令和5年	令和6年
1月	2	5
2月	3	4
3月		
4月		
5月	2	
6月	1	
7月		1
8月		3
9月	2	
10月	2	
11月	2	2
12月	8	4
合計	22	19

4 映像通報119接続状況

■ 映像通報119の接続は26件

119番通報時に現場状況を映像で把握するため、接続を実施した件数です。

接続件数

	件数
成功	16
失敗	10
合計	26

■ 接続件数の内訳

成功

	件数
火災	1
救急	7
救助	3
警戒	1
その他	4
合計	16

【失敗の理由】（抜粋）

- ・スピーカーモードに設定できなかった。
 - ・URLにアクセスできなかった。
 - ・SMSを開封できなかった。
- など、スマートフォン操作の不慣れが要因となっています。

【映像通報119】とは

通報者のスマートフォンを活用して、ライブ映像により災害発生場所を早期に特定し、災害状況を正確に把握できるシステムです。当消防局では、令和6年9月9日から運用を開始しました。

令和6年火災・救急・救助・通信の概況

上越地域消防局 概況



当局ホームページにも掲載しています

上越地域消防局 発行
上越市大字藤野新田 330 番地 1